

事業番号	70	事業の名称	高齢者日常生活補助金	担当部署	部 福祉部	課 長寿課				
基本方針	(3)人がいきいきとつながるまち	分野別項目	(8)高齢者の安心な暮らしと生きがいを支える	施策の進め方	(2)地域支援体制の充実	フラッグ フラッグ項目				
事業の概要	・紙おむつ助成…紙おむつ、尿取りパッド、使い捨て手袋等の購入費用を、年度上限額5万円までを助成する。 ・住宅改修事業…手すりの取り付け等住宅の改修費用を補助する。 ・家族介護慰労金支給事業…介護者に対し、10万円の慰労金を支給することで精神的、経済的負担の軽減を図る。 ・訪問理美容サービス事業…在宅理美容サービス費用を助成する。			他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	・紙おむつ助成…尾張旭市、瀬戸市、豊明市、東郷町で同種事業実施 ・住宅改修事業…豊明市で同種事業実施 ・家族介護慰労金支給事業…尾張旭市、瀬戸市、豊明市、日進市、東郷町で同種事業実施 ・訪問理美容サービス事業…尾張旭市、瀬戸市、豊明市、日進市、東郷町で同種事業実施					
事業期間	事業開始年度	-	終了(予定)年度	-	総事業費 (単位:千円)					
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内在住の満65歳以上の市民等			総事業費	H25予算	H25決算				
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	高齢者等への経済的支援や日常的支援により、住み慣れた地域の中で安心して生活してもらうため。				H26予算	H26決算				
					H27予算	H27決算				
					H28予算	H28決算				
				H29予算	H29決算					
				うち	一般財源	7,063	6,424	6,979	6,630	7,164
					国費・県費	0	0	0	0	0
					地方債	0	0	0	0	0
					その他	0	0	0	0	0
					受益者負担額	0	0	0	0	0

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的 手段 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価	
		4月~	7月~	10月~	1月~				H25実績	H26実績	単位	H25予算	H25決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
		H26目標値							H26目標値			H26予算	H26決算			
① 紙おむつ助成	介護保険法で要介護2から5と認定され、本人所得金額200万円未満の者であり、介護保険施設に入所していない者	→				介護者と要介護者の健康的な生活を支援する。	事業利用申請者数155人	助成金支給者数	155 137 160	人	長久手市第6次高齢者福祉計画及び第5期介護保険事業計画による目標値	4,089 4,450 4,635	4,323 4,858			
② 住宅改修事業	65歳以上で補助事業を実施しようとする住宅に居住し、申請時に市民税非課税世帯である者	→				対象者に安心、快適な生活を送れるようにする	手すり設置や段差解消の工事を行った利用者5人に対し、助成を行った。	助成金支給件数	7 5 30	件	長久手市第6次高齢者福祉計画及び第5期介護保険事業計画による目標値	2,500 2,100 2,100	1,885 1,500	300千円×5人=1,500千円	B 維持 維持	高齢者が安心して自宅で生活できるよう、今後も同様の内容で実施していく。
③ 家族介護慰労金支給事業	介護保険法第19条に規定する認定を受けた被保険者の介護を家族介護者が同居する居宅において行っており、世帯構成員の中に在宅で介護している期間において要介護度又は要介護3の認定を受けた被保険者がいること。且つ、世帯構成員のうち主たる生計中心者が申請時において市民税非課税者であり、要介護認定を受けた被保険者が、介護期間において法第40条に規定する介護給付を1年間受給していないこと。	→				介護者の精神的かつ経済的負担の軽減を図る	利用人数0人	利用者数	0 0 1	人	予算額による算定	100 100 100	0 0	-	B 向上 維持	市民に対する周知方法の検討を行い、利用率の向上を図る。
④ 訪問理美容サービス事業	介護保険で要介護3~5に認定された寝たきり状態、もしくは認知症高齢者の人・身体障害者手帳1級(内部疾患障がい者を除く)の人	→				ねたきり状態の高齢者及び重度身体障害者(児)の保健衛生を向上させる	利用者数26人	利用者数	23 26 24	人	長久手市第6次高齢者福祉計画及び第5期介護保険事業計画による目標値	288 288 288	216 210	高齢者訪問理美容サービス支給費210千円	B 向上 維持	市民に対する周知方法の検討を行い、利用率の向上を図る。

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
	① 紙おむつ助成	各種郵送物にチラシを同封、及び各地域包括等の団体へ情報を提供し、高齢者に対する周知を図る。		
② 住宅改修事業	各種郵送物にチラシを同封、及び各地域包括等の団体へ情報を提供し、高齢者に対する周知を図る。			
③ 家族介護慰労金支給事業	各種郵送物にチラシを同封、及び各地域包括等の団体へ情報を提供し、高齢者に対する周知を図る。			
④ 訪問理美容サービス事業	各種郵送物にチラシを同封、及び各地域包括等の団体へ情報を提供し、高齢者に対する周知を図る。			

事業番号	70	事業の名称	高齢者日常生活補助金		担当部署	部 福祉部	課 長寿課				
基本方針	(3)人がいきいきとつながるまち	分野別項目	(8)高齢者の安心な暮らしと生きがいを支える	施策の進め方	(2)地域支援体制の充実	フラッグ	フラッグ項目				
事業の概要	電磁調理器の購入代を各1回に限り助成する。(所得制限あり)			他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)		尾張旭市、瀬戸市、豊明市、日進市で同種事業実施					
事業期間	事業開始年度	平成12年度	終了(予定)年度	-							
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内在住の満65歳以上の市民等			総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	高齢者等への経済的支援や日常的支援により、住み慣れた地域の中で安心して生活してもらうため。				うち	一般財源	7,063	6,424	6,979	6,630	7,164
					国費・県費	0	0	0	0	0	
					地方債	0	0	0	0	0	
				その他	0	0	0	0	0		
受益者負担額	0			0	0	0	0	0	0		

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価					
		手段							成果指標の目標値 設定の根拠	H25実績	H26実績	単位	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費	評価の説明	
		4月~	7月~	10月~	1月~															H26目標値
⑤	日常生活用具給付事業	・満65歳以上の 寝たきりの人 ・満65歳以上の ひとり暮らしの人 ・満75歳以上の みの世帯	電磁調理器、火災報知機、自動消火器を各1回に限り助成することで (所得制限あり)				日常生活の安全と利便の向上を図る。	利用者数 2人	利用者数	0	2	人	予算額による算定	86	0	41	62	電磁調理器購入費 助成 62千円	B	市民に対する周知方法の検討を行い、 利用率の向上を図る。
⑥																				
⑦																				
⑧																				

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	H27以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要
	①	日常生活用具給付事業		各種郵送物にチラシを同封、及び各地域包括等の団体へ情報を提供し、高齢者に対する周知を図る。	